

吉田大地（よしだだいち） 1981年1月2日生

<学歴>

1999年3月 長野県立須坂東高等学校 卒業
2003年3月 国士舘大学体育学部体育学科 卒業
2006年3月 沖縄リハビリテーション福祉学院 理学療法学科 卒業
2019年3月 久留米大学大学院医学研究科肉眼解剖学教室 卒業

<職歴>

2006年4月 財団法人厚生年金事業団 湯布院厚生年金病院 入職
2010年4月 社会福祉法人慶生会 大今里リハビリテーションセンター
2014年2月 医療法人社団豊泉会 丸山病院
2020年7月 社会医療法人天神会 古賀病院21（出向）
現在に至る

<教育歴>

2017年4月 藍野大学医療保険部 理学療法学科 臨床准教授
2019年3月 終了
2020年4月 久留米リハビリテーション学院 非常勤講師
（神経障害理学療法Ⅱ）

<役職等>

2013年4月 社会福祉法人慶生会 メディカル事業部門訪問リハ統括リーダー
2015年1月 医療法人社団豊泉会 丸山病院リハビリテーション部理学療法室
室長 兼 回復期リハ病棟室長
2017年6月 公益社団法人福岡県理学療法士会 地域包括ケア推進部部长
2018年4月 医療法人社団豊泉会 丸山病院 地域包括ケア戦略室長
2018年7月 医療法人社団豊泉会 丸山病院 事務次長
2018年11月 医療法人社団豊泉会 法人本部 丸山病院 事務部長
2020年4月 医療法人社団豊泉会 丸山病院リハビリテーション部副部长

<資格・学位>

医科学修士
体育学士
理学療法士
教職免許1種
図書司書教諭
ネバタ州立大学公認ピラティスインストラクター

学修に関する資料

<査読付き論文（共著を含む）>

- ・ 吉田大地：外側広筋と股関節前面の関節包との付着について．久留米医学会雑誌 82(1/2)：pp26-33 2019

<学会発表>

- ・ 重度片麻痺患者の下肢支持性獲得に際し筋電図測定にて装具作製を検討した一例．

第18回日本神経理学療法学術大会 2020

- ・ 外側広筋と股関節前面の関節包との付着について：第22回臨床解剖研究会 2018
- ・ 重度片麻痺患者へ短下肢装具を作製しトイレ動作自立に至った1症例．リハビリテーション・ケア合同学会 2017
- ・ 脳卒中片麻痺に対するTilt table実施前後の下腿三頭筋の伸長について～超音波装置を用いた検討～．第51回日本理学療法学術大会 2016
- ・ 慢性期脳卒中片麻痺患者における短下肢装具歩行が及ぼす随意運動への影響～表面筋電図・関節角度を指標として～．第12回日本神経理学療法学術大会 2016
- ・ 脊髄小脳変性症にみられる運動失調に対し筋力向上を図り身体動揺の改善に至った1例．九州理学療法士・作業療法士合同学会 2015
- ・ 訪問リハビリテーションの長期介入によって慢性期脳卒中患者のADLが改善した1症例．第9回日本神経系理学療法学術大会 2012
- ・ 片麻痺患者に対し金属支柱付き短下肢装具を使用し裸足歩行獲得に至った1症例．
-scion imageによる関節角度、歩行速度を指標として-．第50回近畿理学療法学術大会2010

<著書>

- ・ 吉田大地：脳血管障害（生活期）．理学療法アクティブ・ラーニング・テキスト-神経障害理学療法学-，諸橋勇（編），pp，文光堂，東京，2020（執筆中）
- ・ 吉田大地：生活期における脳卒中理学療法．極める脳卒中理学療法，斉藤秀之，加藤浩（編），pp198-219，文光堂，東京，2018
- ・ 吉田大地：ブラッシュアップ理学療法 -88の知が生み出す臨床技術-．64脳卒中片麻痺に対する麻痺側背屈促通法，福井勉（編），pp282-285，三輪書店，東京，2012

<査読委員・査読実績>

2018年～現在 福岡県理学療法士会

<診療実績>

患者診療実績：約4,000名、提供回数約50,000回以上